

# 揖斐すめらぎの森 感謝祭

「すめらぎ」とは、天皇という意味があります。

谷汲緑地公園北西の山麓には、昭和32年4月に開催された第8回植樹行事ならびに国土緑化大会において、昭和天皇、香淳皇后両陛下がスギをお手植えされた場所があります。

そして、昭和51年7月には、上皇、上皇后両陛下（当時皇太子同妃両殿下）が、同地をお訪ねになり枝打ち作業をご視察されました。

さらに、平成27年10月に第39回全国育樹祭が開催され、今上陛下（当時皇太子殿下）により、全国育樹祭では初めてとなる間伐の鋸入れを行っていただきました。

このように、皇室三代にわたり森林づくりが引き継がれてきた皇室ゆかりのスギのある周辺の森を、未来への宝とし、町民こぞって守り育てる決意を持って「揖斐すめらぎの森」と命名しました。

10月27日(日)、谷汲緑地公園で揖斐すめらぎの森感謝祭が開催され、オープニングイベントとして、宗次郎さんのオカリナ演奏、谷汲踊が披露され、式典では、「揖斐川町森づくり宣言」や「記念碑の除幕」が行われました。

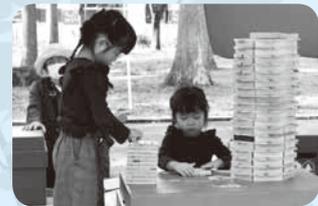
そのほか、岐阜県立森林文化アカデミー学長の涌井史郎氏による記念講演、町内中学生の合唱、坂内小中学校の和太鼓演奏、木育体験や森の恵みバザーなどさまざまなイベントが行われ、会場は多くの人で賑わいました。



記念碑の除幕



オカリナコンサート



木育体験



坂内小中学校による和太鼓演奏



中学生による合唱

## 揖斐川町森づくり宣言

- 一、持続可能な環境や社会づくりのため、町民・企業・行政が協力して揖斐川町の森林づくりを進めます。
- 一、豊かで美しい森林づくりを進め、子どもたちをはじめとするすべての町民が森にふれあい、木に親しむ木育活動を推進し、次世代へつなぐ人づくりと地域づくりを推進します。
- 一、持続可能な森林経営・管理のため、適切な伐採と再造林など森林資源の循環利用を進め、林業の成長産業化や森林の持つ多面的機能の発揮を促進します。



この東屋に貫として使われている集成材は、平成27年に谷汲緑地公園で開催された第39回全国育樹祭において、今上陛下（当時皇太子殿下）がご利用になられた御席に使用されていた木材です。

また、柱の丸太6本は、揖斐川町産のケヤキ、ヒノキ、スギが使用されています。



森づくり宣言



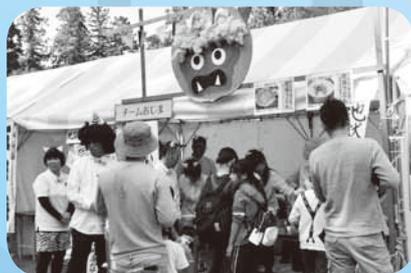
涌井史郎氏による記念講演



木曳き



谷汲踊



森の恵みバザー